

# SEMINAR HOUSE NEWS

## セミナーハウス・ニュース

### No.174

2008年5月発行

財団法人 大学セミナーハウス 〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1 TEL.042-676-8511 FAX.042-676-1220

<http://www.seminarhouse.or.jp>



### 巻頭言

## 「親子で学ぶ四季の植物誌」 セミナーを終えて

評議員 福田 一郎

2005年春から始めた、この植物誌セミナーは3年間続き、この冬で幕を閉じた。最後の「冬の植物誌」(2月3日)の会は、珍しく大雪にみまわれ、近くの人たちしか集まれなかったのが、春4月5日「お別れの会」を本館前のしだれ桜を見ながら、茶席まで設けていただいて本当に嬉しかった。このセミナーには、親子で延べ175家族422名、季節によっては留学生会館の外国人学生も来て下さって、500人近くの人たちが、セミナーハウスの四季おりの自然を楽しむことができた。

このセミナーをやってみて、最も強く感じたのは、大学セミナーハウス・キャンパスの自然の豊かさであった。この大学セミナーハウスは多摩丘陵の一角に位置し、もともと武蔵野の雑木林が茂る里山であった。そこへ創設者の飯田宗一郎さんがメタセコイアやしだれ桜などを植え、キャンパス造りを始めていった。いろいろな樹が混じっているが、それはセミナーを終えたグループが記念に植樹をしたもので、名札がつけられているものもある。こうした樹間に山草が加わって、豊かな自然が造られてきた。講堂の南側のヤブレガサの群落やクヌギの樹の下でツチグリやセミの殻を見つけ、子ども達は大喜びであった。秋にはドングリや落葉を拾ってきて、一枚の画用紙の上に貼ったり、絵を画いたり、めいめいで創作して、その作品をみんなの前で、学年と名前をいって発表してもらい、最後に私の方で評価し、賞め言葉にGood! (よくできました)、Excellent!!(上出来)と英語を交えて言うと、いやいや子ども達は大変な喜びようであった。

### 「メタセコイアの木」

黄金色になったメタセコイア

日の光がさすと すきとおって見える

空にまっすぐ でんとのびている

太古の昔から 人類を見つめている

ぼくたちの歴史を知っている

冬のまっただなかに

葉をおとすメタセコイアの木



この詩は、八王子市高嶺小学校3年生の斎藤敬一君が、昨年12月6日に作った詩である。斎藤君は、この植物誌セミナーに参加して「メタセコイア」を知り、あの高くすと伸びている姿に魅せられて、この木が好きになり、こんな詩を作り、日記に書きとめている。

私は大学での教育暦40年、これまで日本、カナダ、アメリカの学生・院生との接触が主で、今回のセミナーを通じて、その子どもたちの“育ちゆく芽”の存在を知り、貴重な体験をもつことが出来た。

### 謝辞

この学生ではなくて、子ども・親たちを対象としたセミナーは、私の方で立案し、4年前当時の館長中嶋嶺雄先生に話して実現し、その後荻上紘一館長の時代に引き継がれて来た。館長はお忙しいなかつつも出席下さり、お世話役の職員は毎回趣向を凝らして、子どもたちをあたっかく迎え入れ対応して下さいました。キャンパスめぐりを終えて、セミナー室へ帰ってくると、冷いスイカやあたっかい飲みものが用意されて、おやつを食べながら、子ども達は創作の作品づくりに励んだ。最後に、私の話はいつもパワーポイントを用いたが、その花の写真のとり込み、製作に高橋央さん親子のお援けをいただいた。お礼を申しあげたい。また資金面の援助では、平成18年度八王子市市民企画事業交付金の配布をいただいた。感謝。

これから先、いつの日か、このセミナーで学んだ子どもたちが、大学生に成長して、再び大学セミナーハウスの丘へやって来る、そんな日もあるだろうと想いつつ、ペンを置く。

●福田 一郎 (ふくだ いちろう) プロフィール  
東京女子大学名誉教授  
専門：遺伝学  
略歴：1962年 北海道大学大学院理学研究科 博士課程修了・理学博士  
1963年 カリフォルニア大学 (バークレイ校) ポスト・ドクトラル課程修了  
1964年 バンダービルト大学 (テネシー) 研究員  
1974年 東京女子大学文理学部教授  
1978年 カナダ・マギル大学客員教授  
1987年 米国ローズ大学 (テネシー) 客員教授  
1995年 米国アーバン大学 (アラバマ) 客員教授  
1998年 東京女子大学名誉教授  
社会活動：幼少児国際教育交流協会理事 (1991～97)  
日本ブータン友好協会事務局長 (1992～1997)  
アジア生態進化研究所所長 (1998～現在)  
親学会会長 (2001～現在)  
受賞：アメリカ合衆国テネシー州名誉市民 (1964年)

## 第116回理事会

実施日：平成19年12月20日（木）  
場 所：桜美林大学新宿キャンパス

『理事会』

出席者9名、書面による出席者12名、合計21名

「平成19年度施設改修計画」及び「平成20年度以降の施設整備の進め方」、「評議員の選任について」などの審議がなされ、いずれも原案通り承認されました。

主な協議事項及び報告事項は次のとおりです。

### ◎平成19年度施設改修計画について

次のとおり計画案が承認されました。

1. 国際セミナー館：定員44名から64名宿泊可能に。シャワー、トイレ（ウオシュレット）、冷暖房（エアコン）完備。
2. 教師館（松下館）：2F 1号室から8号室までユニットバス新設。
3. バリアフリー化：車椅子のまま同行グループと食堂で会食等ができる動線整備計画。

### ◎平成20年度以降の施設整備の進め方について

次のとおり計画案が承認されました。

1. 記念館の改修計画：A棟浴室をトイレに改修、外トイレのウオシュレット、7室にユニットバスを設置、その他
2. 新棟の建設計画：東京都の開発許可による新棟建設計画。既存建物の建替協議では、既存建物を大幅に除却しなければならないが、東京都の開発許可によれば既存建物を除却しなくても十分に新棟建設が可能である。

### ◎評議員の選任について

次のとおり評議員が選任されました。任期は、平成19年12月21日から平成20年5月31日までです。

協力校の学長交替による新任

寺中 平治 聖心女子大学学長

（前任者：山縣喜代前聖心女子大学学長）

事務局から配布資料に基づき、「利用状況」「平成19年度主催セミナー実施報告」「敷地造成工事の状況について」「平成19年度の財務（収支状況）の見通しについて」「寄付行為の改正（平成19年11月20日認可）について」「新しい公益法人制度への移行について」などについて報告されました。

## 平成19年度第2回常務理事会

実施日：平成19年12月20日（木）  
場 所：桜美林大学新宿キャンパス

（出席者）

佐藤東洋土理事長はじめ常務理事8名

（主な議事）

第116回理事会への上程議題や事務局からの報告事項の中の主要な項目について、協議いたしました。

1. 「平成19年度施設改修計画」
2. 「平成20年度以降の施設整備の進め方」
3. 「評議員の選任案」
4. 業務報告事項について

## 第117回理事会・第94回評議員会

実施日：平成20年3月24日（月）  
場 所：桜美林大学新宿キャンパス

『理事会』

出席者9名、書面による出席者11名、合計20名

『評議員会』

出席者9名、書面による出席者38名、合計47名

「平成20年度事業計画」及び「平成20年度一般会計収支予算」並びに「平成20年度施設整備計画」を中心に審議がなされ、いずれも原案通り承認されました。

主な協議事項及び報告事項は次の通りです。

### ◎平成20年度事業計画・平成20年度一般会計収支予算について

平成20年度事業計画・収支予算については、原案通り承認されました。

収支予算書は、別表（4頁）の通りです。

なお、宿泊利用者数は、33,000名を見込んでいます。

### ◎平成20年度施設整備計画について

次のとおり計画案が承認されました。

1. 記念館：ユニットバス、ウオシュレット設置、外壁塗り替える。  
1F浴室は利用度が高いのでこのまま残す。定員51名から47名に減少。
2. 教師館（松下館）：セミナー室・管理室ユニットバス新設（3室）ツインベッド6名増。現状浴室廃止。
3. 長期館客室：客室ベッド付近に小型エアコンを設置（12ヶ所）設置冷暖兼。  
長期館および国際浴室のボイラーを廃止しPGに切り替える（燃料、管理費の削減等）。
4. 多人数の利用できる浴場：浴場整備を行う。  
男女別に利用できる要望があるが費用に限りがあり検討を要する。

### ◎報告事項について

事務局から配布資料に基づき、「平成19年度利用状況」「主催事業の実施状況」「平成19年度決算見込」「グランド造成工事の状況」「寄付行為改定の認可」などが報告されました。

## 平成19年度第3回常務理事会

実施日：平成20年3月24日（月）  
場 所：桜美林大学新宿キャンパス

（出席者）

佐藤東洋土理事長はじめ常務理事8名

（主な議事）

第117回理事会と第94回評議員会への上程議題や、事務局からの報告事項の中の主要な項目について協議いたしました。

1. 「平成20年度事業計画」
2. 「平成20年度一般会計収支予算」
3. 「平成20年度施設整備計画」
4. その他

## 会費をありがとうございました

平成19年10月～平成20年3月 (敬称略)

前川真理、関本昌秀、小林善彦、松田千鶴子、末松安晴、松尾秀雄、平澤茂一、佐藤東洋士、井手久登、安達義明、篠崎啓助、木畑洋一、並河一道、大瀧祐子、酢屋善元、黒田成俊、高橋三郎、小田中敏男、牧内 操、森田信義、林 卓男、小田 滋、松岡八郎、宇野重昭、齊藤 孝、久留都茂子、大須賀節雄、川鍋正敏、熊川 忠、小林徹郎、清水 護、山下幸夫、飯野陽子、戸張よし子、滝口 亨、山岸 健、田島澄江、田村光三、今井哲哉、近藤 保、青木生子、小池生夫、栗田 寛、尾田幸雄、有山正孝、生山智己、松本幸一、中野斉子、永井克孝、池田 温、澤 孝一郎、米満 澄、岡崎 正、田村皖司、甲斐 隆、吉田 豊、小西正捷、横沼健雄、杉山 好、森 久、増田義男、石田孝夫、青柳総太郎、高橋恒郎、小谷正博、天野成光、堀井啓幸、三浦安子、上田明子、川端香男里、白井克彦、後藤 敏明、大澤恵美子、慶谷壽信、川崎正三、兵頭圭介、松澤正夫、鈴木 皇、松山正男、中西 治、小山弘志、本田和子、武田昌輔、鈴木順子、山田圭一、柳澤富雄、乾 崇夫、柳父園近、中村正一、茅野良男、北原文雄、新井 明、福井憲彦、根岸愛子、海老沢信一、佐藤音彦、北村嘉行、出光直樹、池井 優、金子ハルオ、松田安弘、富沢賢治、佐藤 光、井原恵治、福永寿巳夫、中村妙子、小林一彦、肥前榮一、泉 敏彦、笠 耐、磯 直道、馬越 徹、風間邦光、新保清子、高松正昭、城 謙輔、勝見允行、絹川正吉、中田良平、島田治夫、村田 全、土井恵美子、布施涛雄、柴田泰比古、小幡史朗、島 美喜子、小原啓義、手塚喬介、佐藤公孝、進見音彦、木村建一、高橋和之、福田一郎、有賀 弘、鈴木三男吉

## 会員からのメッセージ

- ◆ 本年も美しいパースデカードをお送りいただき、まことにありがとうございました。前川真理
- ◆ 最近貴施設を利用していませんが、元気でやっています。平澤茂一
- ◆ 千人会の一員として少しばかりお役に立っていることを嬉しく思います。真理の鐘の写真素敵ですね。森田信義
- ◆ 誕生日カードありがとうございました。おかげさまで83歳を迎えましたが相変わらず消光しております。大学セミナーハウスも活発に御活躍の御様子心からお喜び申し上げますとともに今後ともに一層の御発展を御期待申し上げます。松岡八郎
- ◆ 県立3大学の統合と法人化の同時進行で、上京の時間調整がすっかり困難になってしまいました。時には大学セミナーハウスに行ってみたという衝動にかられるのですが。順調なご発展を祈っています。宇野重昭
- ◆ 誕生日のお祝いの言葉をありがとうございます。大学セミナーハウスが地域の人々や社会人にも開かれているということの意義は、とても大きいと思います。熊川 忠
- ◆ 誕生日を祝って今年もカードを頂き、厚く御礼申し上げます。締切のない仕事、義務を伴わない仕事は“遊び”と心得ております。専ら、文字通り“遊び”の生活であります。せめてプラトンやホメロスの一頁でも読めるようにと、古典ギリシア語を習っています。5、6人の学生の一人になって西洋古典の専門家から学ぶ楽しさは格別であります。試験も受けておりますが、本物が読めるのはいつのことか。小林徹郎
- ◆ 飯野利夫は本年8月8日87才にて他界致しました。飯野陽子
- ◆ 2007年3月をもって大妻女子大学を退職しました。多摩のアクロポリスは、みごとなパラダイスです。山岸 健
- ◆ ハウスの益々の充実、発展をお祈りいたします。87歳の誕生日をどうやら迎えました。体調をくずしましたが、養生しつつ、やり残した仕事をまとめてゆくつもりです。青木生子
- ◆ 7月23日で75才になりました。現役の第一線で働いております。おそくなりましたが、これも多忙の故とごかんばりください。小池生夫
- ◆ いつも「セミナーハウスの便り」をお送りいただき、ありがとうございます。楽しく拝見しております。もう随分伺って

- いないので、新しい建物のできたセミナーハウスに機会を得て、ぜひ参上したく思っています。「千人会会」(?)などはいかがでしょうか。永井克孝
- ◆ 12月12日誕生日お祝いカードのお送りを賜わり誠に有難うございました。岡崎 正
- ◆ 誕生日を祝うカードありがとうございました。会費の納入少し遅れてしまいました。ご了承ください。すべてに、セミナー・ハウス様変わりし、少々寂しくもありますが、時勢の流れへの対応ということでしょう。田村皖司
- ◆ 誕生日カードを送っていただき有難うございました。セミナー・ハウスが学生達や研究者達の交流の場として増々機能を發揮されますように祈念しております。甲斐 隆
- ◆ もう何年も伺っていませんが、御発展を祈ります。遠来荘がなくなつたのは淋しいですが、脇の蠟燭はどうなったでしょうか。立教大学名誉教授 小西正捷
- ◆ 12月19日に79歳を迎えました。您好生 杉山 好
- ◆ ゼミ合宿を4月に予定していましたが、ゼミが不成立のために実施できません。来年はまた桜の中でのゼミ合宿と願っております。明治大学経営学部 森 久
- ◆ 卒業、社会人となって32回目の誕生日を無事むかえることができました。セミナーHの積極的な活動を期待しています。株式会社主婦の友社勤務 青柳総太郎
- ◆ パースデカードありがとうございました。勤務する大学も、創設3年目にして校舎、研究室等も整い、慌しいなかにも教育、研究に集中しやすくなりました。久しぶりにセミナーハウスに宿泊して勉強したいと思っております。堀井啓幸
- ◆ 人と人とのコミュニケーションを育む場として大学セミナー・ハウスの重要性はますます大きくなっていくと思います。皆様の御平安をお祈り申し上げます。三浦安子
- ◆ セミナーハウスの事業の発展を期待します。白井克彦
- ◆ 美しいお誕生日カードをありがとうございました。丁度、その頃は、日本デュイ学会の大会、総会と大会でのシンポジストの準備などで多忙をきわめ、すっかり払込みを失念いたしておりました。お陰様で、二期六年間の会長職を退任することが出来ましたので、これからは、現職時代に叶わなかった分野の研究にも微力ながら挑戦したいと願っています。送金遅れましたこと、心よりお詫び申し上げます。鈴木順子

- ◆ ホームページを楽しみに拝見しています。今年は機会をつくってセミナーに参加してみたいと思います。よろしく願いいたします。中村正一
- ◆ 88歳の誕生日を迎えました。当館にお世話になった約30年前を思い出します。ユニークな活動を続けてこられた当館の発展を期待しております。北原文雄
- ◆ さいきん『諸学の系譜と真理学』セミナー・ハウス発行(1980年10月刊)を再読いたしました。前田護郎選集(教文館)の「解説」を書くためです。懐かしい限りです。新井 明
- ◆ セミナーハウス付近の開発はめざましいものがあります。特に南大沢の発展は驚くばかりです。セミナーの未来も近隣地域と共に明るく大きいものでありますよう。山梨学院大学 海老沢信一
- ◆ 貴会の益々の発展をお祈りいたします。松田安弘
- ◆ さいわい健康にめぐまれ、久しぶりに著書を刊行することができました。肥前榮一
- ◆ 明治学院大学経済学部が国際経営学科を創設して2年目ですが、今年度のシドニー大学への語学研修生を引率して、約2週間オーストラリアにでかけていました。そのため送金が遅れ申しわけありません。高松正昭
- ◆ 今年も会費を納めることができ感謝です。貴重な場が益々活用されますよう祈ります。島田治夫
- ◆ 永年の悲願がかない、やっと銀行からの借入金で、新しい建物を建設されたこと、心からお喜びいたします。布施涛雄
- ◆ 昨年は思いもかけず大動脈弁置換手術を受けましたが、思いもあらたに開拓伝道5年を迎えています。感謝。小幡史朗
- ◆ 今年も2月に国立音大イリス合唱団の合宿に利用させて頂きました。大学セミナーハウス讃歌を学生たちは事務室前で歌わせて頂いた様です。ありがとうございます。佐藤公孝
- ◆ 三年間続けました「四季植物誌」親子で学ぶ自然観察会は幕を閉じました。これに参加した子ども達が大学生、社会人になって、大学セミナーハウスにいつの日かやってくることを夢めています。福田一郎
- ◆ 去年植樹した河津桜は咲きましたとのホームページを拝見し、幼木なのにもう花がつけたのかしらと喜びを感じ、セミナーハウスに行きました。本当に可愛い花をつけていたので、この短歌を詠んでみました。多摩の丘 河津ざくらの幼木に うす紅色の花をみつけぬ 渡辺禮子

## 2007年度 宿泊業務報告

### ◇ 宿泊利用者数は昨年比5,801名増

年間の宿泊利用者数は35,085名で、前年度(29,284名)に比べ20%増加しました。

### ◇ 区分別利用状況

会員校の利用は14,752名で、前年度(12,137名)に比べ22%増、一般校の利用は10,615名で前年度(8,818名)に比べ20%増、社会人の利用は9,718名で、前年度(8,329名)に比べ17%増になりました。全体的に安定した伸びになりました。これは一昨年来さくら館をご利用していただいた方々から御好評を得られた結果が大きく影響していると思われます。又、新入生のオリエンテーション、留学生の短期滞在、高校生の勉強合宿、セミナーハウス近隣の学校へスポーツ遠征のための宿泊、新入社員研修、研究会など各区分の利用も増えました。

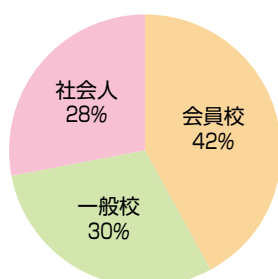
さくら館以外の宿舎にもトイレ、バス、シャワーの充実をはかるなど清潔で明るい施設を目指して努力しておりますので、さらに次年度の利用増につなげたいと思っています。

### 協力会員校・準協力会員校・賛助会員別利用状況

(2007年4月～2008年3月)

学校名	件数	実人数	延人数
中央大学	47	1,534	1,798
早稲田大学	34	649	927
法政大学	26	633	872
明星大学	22	495	844
帝京大学	2	62	842
青山学院大学	22	641	830
首都大学東京・東京都立大学	45	787	819
駒澤大学	21	450	651
東洋大学	13	404	634
日本大学	23	414	550
東京大学	15	392	468
東京学芸大学	17	374	436
明治大学	15	256	403
慶應義塾大学	16	286	365
国際基督教大学	6	137	292
立教大学	13	210	266
東京外国語大学	12	178	252
創価大学	12	192	233
芝浦工業大学	5	223	231
東京経済大学	3	140	220

### 利用グループ構成比



## 施設の利用状況

年 度	2006年度		2007年度		2007/2006
	宿泊延人数	構成比	宿泊延人数	構成比	
会員校	12,137人	41.5%	14,752人	42.0%	+21.5%
一般校	8,818人	30.1%	10,615人	30.3%	+20.4%
社会人	8,329人	28.4%	9,718人	27.7%	+16.7%
合 計	29,284人	100.0%	35,085人	100.0%	+19.8%

(注) 収容定員 294人 (ユニットハウスは7月～9月のみ稼働)  
 年間稼働日数 358日  
 年間収容定員 95,942人  
 年間稼働率 37%



河津桜

## 平成20年度 収支予算書総括表

(平成20年4月1日～平成21年3月31日) 単位:円

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 額
基本財産利息収入	10,000	1,500	8,500
会費収入	52,500,000	53,600,000	-1,100,000
一般事業収入	160,149,000	145,590,000	14,559,000
食堂事業収入	75,190,000	69,250,000	5,940,000
留学生会館収入	12,150,000	12,150,000	0
セミナー会費収入	7,000,000	6,100,000	900,000
補助金等収入	0	0	0
寄付金収入	1,600,000	1,620,000	-20,000
雑収入	8,000,000	7,447,800	552,200
事業活動収入計	316,599,000	295,759,300	20,839,700
①管理費支出			
人件費	16,000,000	17,375,000	-1,375,000
施設管理費	31,008,000	34,364,030	-3,356,030
一般管理費	16,631,565	17,798,594	-1,167,029
①管理費支出計	63,639,565	69,537,624	-5,898,059
②事業費支出	112,337,000	115,124,750	-2,787,750
人件費	42,000,000	44,363,000	-2,363,000
一般事業費	64,237,000	65,461,750	-1,224,750
学生セミナー事業費	1,500,000	500,000	1,000,000
教職員セミナー事業費	3,200,000	3,600,000	-400,000
その他のセミナー事業費	1,400,000	1,200,000	200,000
③食堂事業費支出	68,576,000	61,969,400	6,606,600
食堂事業直接費	31,662,000	27,750,000	3,912,000
人件費	29,000,000	25,946,000	3,054,000
食堂事業間接費	7,914,000	8,273,400	-359,400
②+③事業費支出計	180,913,000	177,094,150	3,818,850
事業活動支出計	244,552,565	246,631,774	-2,079,209
事業活動収支差額	72,046,435	49,127,526	22,918,909
投資活動収入			
什器備品売却収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
投資活動支出			
什器備品売却支出	0	0	0
減価償却引当資産取得支出	29,000,000	10,000,000	19,000,000
投資活動支出計	29,000,000	10,000,000	19,000,000
投資活動収支差額	-29,000,000	-10,000,000	-19,000,000
財務活動収入			
長期借入金収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
財務活動支出			
長期借入金返済支出	26,254,547	25,657,000	597,547
特定預金支出	9,000,000	4,000,000	5,000,000
財務活動支出計	35,254,547	29,657,000	5,597,547
財務活動収支差額	-35,254,547	-29,657,000	-5,597,547
予備費支出	2,000,000	2,000,000	0
当期収入合計	316,599,000	295,759,300	20,839,700
当期支出合計	310,807,112	288,288,774	22,518,338
当期収支差額	5,791,888	7,470,526	-1,678,638
前期繰越収支差額	14,096,818	6,626,292	7,470,526
次期繰越収支差額	19,888,706	14,096,818	5,791,888

## ご利用ありがとうございました

(平成19年10月～平成20年3月)

\* = 同月2回利用

\*\* = 同月3回利用

日帰り利用はグループ数のみ  
(延べ人数には日帰り利用は含まず)

敬称略

### ■ 10月 (53グループ、延2,128人)

東京大学教養学部学生自治会  
 東京大学 町田友樹  
 東京学芸大学GSC  
 武蔵工業大学工学部  
 慶應義塾大学 井上英之  
 工学院大学・千葉大学・東京電機大学建築学科合同  
 上智大学STP足利\*  
 東京学芸大学混声合唱団  
 中央大学 砂川和範  
 早稲田大学 渡辺仁史  
 東京大学 島蘭 進  
 学習院大学フランス会部  
 日本大学 大井真二  
 早稲田大学M  
 日本大学 佐野 充  
 アイセック東京大学委員会  
 法政大学 片岡義晴  
 東京都立新宿高等学校  
 阿久津中学校  
 一橋大学 森武麻呂  
 第2回大学人コミュニケーション養成セミナー  
 南八王子サッカークラブジュニアユース  
 一橋大学 嶋崎 隆  
 独立行政法人国立高等専門学校機構本部  
 ATACS  
 日本ゲノム微生物学会  
 関西創価高等学校  
 第18回大学職員セミナー  
 興学社学園\*  
 TAMAハレルヤゴスペルクワイア  
 (株)生活科学運営  
 日本サムスン (株)  
 (株)オザム\*  
 全国学校レクリエーション研究大会  
 特定非営利活動法人樹木・環境ネットワーク協会  
 日本ハリストス正教会教団  
 (株)虎の穴  
 (株)ノジマ  
 ガイアフィルハーモニッククワイア  
 Dancing Woodpecker  
 積水ハウス (株)商品開発部  
 室内合唱団  
 日本ハウスケア協会  
 首都圏作業療法連絡協議会  
 ラフターヨガ・ジャパン  
 ホワイトホースシアター  
 (個人利用)  
 首都大学東京 井出 明  
 中央大学 項 賢明  
 (日帰り利用)  
 倉郷環境対策協議会

日韓学生会議  
 特定非営利活動法人新月の木国際協会  
 日本プロガイド協会  
 帝京科学大学 別府敏夫  
 (株)宝島社  
 ■ 11月 (70グループ、延2,054人)  
 中央大学 大須眞治  
 中央大学 甲斐義幸  
 駒澤大学マスコミュニケーション研究所  
 法政大学CLS  
 首都大学東京人文社会系哲学教室  
 東京外国語大学タイ語科  
 早稲田大学 高橋真吾  
 駒澤大学経済学部  
 東京学芸大学大学院  
 首都大学東京 児島 晃  
 法政大学 小椋正立  
 恵泉女学園大学 高橋清貴  
 中央大学 橋本基弘  
 明星大学 小貫 悟  
 青山学院大学 佐久間康夫  
 中央大学 田中素香  
 創価大学キャリアセンター  
 お茶の水女子大学国際教育センター  
 首都大学東京 小林克弘  
 早稲田大学 大塚英明  
 東京農工大学 仁藤 修  
 早稲田大学 那須 壽  
 中央大学シグナル  
 青山学院大学 神長 勲  
 中央大学 緑川 晶  
 恵泉女学園大学 川島堅二  
 駒澤大学合唱団  
 立教大学 上田 信  
 アイセック慶應湘南藤沢委員会  
 国際基督教大学ディベティングソサエティ  
 日本女子大学附属高等学校  
 自治医科大学看護学部  
 第4回古代史セミナー  
 東京神学大学2007年度修養会  
 第1回国際教養セミナー  
 地域づくりインターンの会  
 東海大学 岩岡竜夫  
 アイセック・ジャパン  
 一橋大学 佐藤主光  
 宇都宮リトルシニア野球協会  
 愛知大学軟式野球  
 チームミラー  
 東京都立新島高等学校太鼓部  
 日韓学生会議  
 インターナショナルパシフィック大学  
 (株)ナムコ  
 (株)サキコーポレーション  
 アライド  
 交響楽団たんぽぽ  
 (株)生活科学運営  
 (株)オザム  
 (株)オリンパス  
 大東建託 (株)  
 (株)いなげや\*\*  
 特定非営利活動法人グリーンピースジャパン

ツリーマスタークライミングアカデミー  
 久遠キリスト教会聖歌隊  
 国際環境NGO FoE Japan  
 日本ハウスケア協会  
 (個人利用)  
 首都大学東京 井出 明\*\*  
 早稲田大学 豊田秀樹  
 創価大学スクーリング生  
 (日帰り利用)  
 東京学芸大学 遠藤 徹  
 日本大学殺陣同志会  
 歌唱クラブ  
 四季の植物誌  
 ツリーマスタークライミングアカデミー  
 帝京科学大学 別府敏夫  
 オリンパス (株)  
 トランスワールドジャパン (株)  
 ■ 12月 (63グループ、延1,927人)  
 武蔵大学 川島浩平  
 アイセック中央大学委員会  
 法政大学 相田利雄  
 東京農業大学 宮浦理恵  
 慶應義塾大学SFC模擬国連  
 日本女子大学英文学科  
 上智大学ソフィア・アルファー  
 日本大学生物資源科学部  
 アイセック早稲田大学委員会  
 慶應義塾大学 菊沢研宗  
 早稲田大学 小松原明哲  
 早稲田大学 河西宏祐  
 東京大学 福田慎一  
 東京外国語大学 田島陽一  
 日本大学バスケットボール部  
 早稲田大学 井上達彦  
 東京工業大学 米崎直樹  
 日本大学 小林 晃  
 早稲田大学 守口 剛  
 工学院大学 吉田倬郎  
 大妻女子大学 齊藤恵子  
 早稲田大学 安在邦夫  
 桜美林大学 奥野克巳  
 創価大学PRIDE OF SOUKA  
 創価大学イタリア研究会  
 国際基督教大学歌劇団  
 日本大学 古田智久  
 第18回大学職員セミナー  
 社会学合同セミナー  
 一橋大学 蓼沼宏一  
 国際基督教大学高等学校  
 東京薬科大学蔵本研究室  
 ジャパンプラットフォーム学生ネットワーク  
 東京都立小山台高等学校  
 ものづくり大学 三原 斉  
 マレーシア留学生団体  
 八王子高等学校  
 国際物理オリンピック日本代表候補者合宿  
 東京国際大学 萩原康子  
 宇都宮市立若松原中学校  
 財団法人エイ・エフ・エス日本協会  
 学生ボランティア  
 (社)倫理研究所東京都倫理法人会

アライド

(株)生活科学運営

ダイア建設 (株)

参加型の場作りを考える会

どんぐり

日野自動車労働組合

東京国税労働組合

ツリーマスタークライミングアカデミー

アイフォーコム (株)

建築浴の会

文学教育研究者集団

多分化社会米国理解教育研究会

AITC

個人利用

創価大学スクーリング生

首都大学東京 井出 明

明星大学スクーリング生

日帰り利用

八王子リトルリーグ

東京八王子ワイズメンズクラブ

帝京科学大学 別府敏夫

中郷イーグルス

オリンパス (株)

■ 1月 (38グループ、延1,350人)

法政大学 児美川孝一郎

桜美林大学 岩井清治

電気通信大学 鈴木雅久

日本大学 倉島 隆

慶應義塾大学 井手秀樹

首都大学東京理工学系生命科学コース

立教大学 有馬賢治

東京大学五月祭常任委員会

駒澤大学 兼村栄哲

首都大学東京都市環境学部

桜美林大学 中條 献

桜美林大学 川西重忠

早稲田大学丸山ゼミ

アイセック中央大学委員会

駒澤大学教授 瀬戸岡紘

首都大学東京 綾部真雄

日本女子大学 坂田 仰

筑波大学システム情報工学研究科

中央大学 平野 健 (2年生)

帝京大学スタジアムプロードセンター

一橋大学 高尾 隆

富山国際附属高等学校

科学者との対話ゼミ

玉川大学学生会

室内合唱団VOX GAUDIOSA

マリアセンター

ラフターヨガ・ジャパン

(株)テクネット

(株)プラザ

(社)日本POP広告協会

日本ハウスクエア協会

(株)オザム

(財)国際労働財団

個人利用

首都大学東京 井出 明

日帰り利用

明星大学新入生オリエンテーション打ち合わせ

ダイエーユニオン

帝京科学大学 別府敏夫

文化工房

■ 2月 (81グループ、延3,064人)

中央大学 平野 健 (3年生)

明治大学 小野島真

創価大学 長谷部秀孝

法政大学 廣川みどり

日本大学 代田剛彦

東洋大学社会学部

明治大学天文部

明治大学 竹下俊郎

東洋大学はばたき

武蔵工業大学学生団体連合会

日本大学 中邨良樹

青山学院大学 寺東寛治

青山学院大学 藤村 学

日本大学雄弁会

千葉大学 武蔵武彦

帝京大学スタジアムプロードセンター

慶應義塾大学 重松 淳

青山学院大学 白井邦彦

東洋大学 太矢一彦

法政大学 上西充子

日本大学 福田弥夫

青山学院大学グリーンハーモニー合唱団

Seele東洋英和女学院大学

中央大学混声合唱こだま会

埼玉大学 江口幸治

東京学芸大学 斉藤一久

駒澤大学演劇研究ゆりかもめ

中央大学混声合唱団

早稲田大学白木ゼミナール田植塾

早稲田大学 吉野 孝

早稲田大学 喜多明人

青山学院大学青山キリスト教学生会

法政大学 粕谷信次

明治大学 川嶋周一

上智大学 Good Job

アイセック中央大学委員会

東京外国語大学 渡邊啓貴

中央大学 横湯園子

桜美林大学 高橋真義

日本大学 福島康仁

東京女子大学 篠崎晃一

東京工科大学吹奏楽団

法政大学 八幡成美

電気通信大学生協学生委員会

大妻女子大学 佐藤洋一

首都大学東京神経分子機能研究室

明治学院大学 孫 占坤

特定非営利活動法人日本ライフセービング協会

明治学院大学 小野島真

玉川大学教育学部

学生団体サステコ編集部

聖学院大学キリスト教センター

獨協大学 鈴木英一

国立音楽大学イリス合唱団

聖学院大学ハンドベル・クワイア

日本ラクロス協会

明治学院大学 野末武義

東京薬科大学

多摩美術大学 STEIM in TOKYO

臨床福祉専門学校

学校法人立志舎

(株)オザム\*

(株)システムリンクス

万国デフ・バプテスト福音伝道協会

イーガネス

(株)アドックインターナショナル

ウチダユニコム (株)

アジレント・テクノロジー・インターナショナル (株)

カウンセリング研修会きざし

(株)ノジマ

日本ハウスクエア協会

インフィニ東京

インクリメントP (株)

国税労働組合総連合

日帰り利用

帝京科学大学 別府敏夫

四季の植物誌

法政大学 羽場久美子

ツリーマスタークライミングアカデミー\*\*

エコ・ネットワーク八王子

Navi編集部

ブルータス編集部

■ 3月 (77グループ、延3,952人)

法政大学 和田 悠

早稲田大学丸山ゼミ

首都大学東京大学院

芝浦工業大学英語部

東京学芸大学 金谷 憲

アイセック慶應湘南藤沢委員会

東京大学ESS

法政大学 原 伸子

駒澤大学 安元 稔

東洋大学 遠藤喜佳

駒澤大学 山田信行

東京経済大学文化会本部

明星大学電気電子システム工学科

早稲田大学 大門 毅

青山学院大学 高木誠一郎

ICU祭実行委員会

法政大学飯田ゼミナール

駒澤大学 川本 勝

駒澤大学 谷敷正光

中央大学辞達学会

立教大学 鈴木秀一

上智大学ヘルパー

電気通信大学 寺田 実

中央大学 木下徳明

日本大学 倉島 隆

東京大学科学哲学科

明星大学 小貫 悟

千葉大学 工藤秀明

早稲田大学劇団コンチェルト

青山学院大学日中学生交流団体freebird

立教大学 鈴木理江子

青山学院大学 中澤進一

明治大学雄弁部

明星大学 露木恵美子

東洋大学 川瀬晃弘

横浜国立大学 小川慎一  
 東京学芸大学 山田有策  
 東京工業高等専門学校電子工学科2年生  
 駒澤大学 阿部 弘  
 日本大学 後藤範章  
 第48回大学教員セミナー  
 メタンハイドレート・ワークショップ  
 全人的医療を考える会  
 ロシア文化研究会合同研修  
 自治医科大学看護学部  
 一橋大学 渡辺 治  
 第3回大学人コミュニケーション養成セミナー  
 人間工学会システム大会  
 埼玉県医療社会事業協会  
 桐朋中学校

東京薬科大学新歓祭実行委員会  
 日独フォーラム  
 ガールスカウト東京79団  
 東京神学大学学生説教塾  
 文教大学 広内哲夫  
 特定非常利活動法人日本国際教育大学連合 (JUCTe)  
 アクト・セン (株)  
 アライド  
 (株)KSKテクノサポート\*  
 日本人間工学会アーゴデザイン部会  
 ラフターヨガ・ジャパン  
 コニカミノルタ労働組合八王子支部  
 フッソール研究会  
 スパイシーソフト (株)  
 NPO法人立川マック

(株)オザム\*  
 現代と経済  
 文学教育研究者集団  
 フィリピン大使館  
 (個人利用)  
 高崎経済大学 渡辺孝文  
 東京外国語大学 渡辺啓貴  
 (日帰り利用)  
 ツリーマスタークラミングアカデミー\*  
 国際環境NGO FoE Japan  
 法政大学メディア分析実習  
 (社)中央酪農会議  
 エコ・ネットワーク八王子  
 由木中央小学校お別れ会

## 2007年度後期 開催セミナー報告

セミナー名	日程	テーマ	講師	参加者数
第34回国際学生セミナー	9/29~30	実現なるか、東アジア 共同体！	白石 隆 (政策研究大学院大学副学長・政策研究 科教授) 絵所秀紀 (法政大学教授) 渡邊啓貴 (東京外国語大学外国語学部教授) 青木 健 (杏林大学総合政策学部教授) 大庭三枝 (東京理科大准教授) 滝田賢治 (中央大学法学部教授)	38名
第2回大学コミュニケーション力養成セミナー	10/12~13	輝く大学を創る原理原則を 考える	高橋真義 (桜美林大学大学院教授)	11名
第18回大学職員セミナーⅡ	10/26~27	激動の時代に輝く大学を創る	植草茂樹 (新日本監査法人公会計部学校法人経営 管理支援室) 山岸駿介 (財団法人日本私学教育研究所理事・所長)	29名
第2回FDセミナー	11/10	FDの新しい方向性	本間正人 (帝塚山学院大学客員教授)	32名
第4回日本古代史セミナー	11/10~11	日本を深くする古代史批判	古田武彦 (歴史学者・元昭和薬科大学教授)	71名
第1回国際教養セミナー	11/16~17	多文化共生の道を探る	船曳建夫 (東京大学大学院総合文化研究科教授) 川田順造 (神奈川大学日本常民文化研究所客員研究員) 古矢 旬 (東京大学大学院総合文化研究科教授) 大塚和夫 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語 文化研究所所長) 花澤聖子 (神田外語大学外国語学部教授) 渡邊啓貴 (東京外国語大学外国語学部教授)	38名
自然セミナー四季の植物誌	11/23 08/2/3	四季の植物誌…親子で学ぶ 自然観察…	福田一郎 (東京女子大学名誉教授)	33名 16名
第18回大学職員セミナーⅢ	12/7~8	激動の時代に輝く大学を創る	徳永 保 (文部科学省研究振興局長) 佐藤東洋士 (桜美林学園理事長・桜美林大学学長)	39名
第48回大学教員セミナー	08/3/3~4	18歳人口減少と私立大学の 将来戦略	杉野 剛 (文部科学省高等教育局私学部私学行政課長) 清成忠男 (法政大学学事顧問・元総長、私学事業団 研究会座長) 古屋忠彦 (山梨学院大学学長) 山本真一 (広島大学高等教育研究開発センター長・ 教授)	35名
第3回大学コミュニケーション力養成セミナー	08/3/14~15	輝く大学を創る原理原則を 考える	高橋真義 (桜美林大学大学院教授)	10名

## 2008年度 開催セミナー

主催セミナー名	日 程	テ ー マ
第 1 回 FD研究会	08/ 5 /10(土)	FD担当者に何がもとめられているか?
第 4 回 大学人コミュニケーション力養成セミナー	08/ 6 /13(金)~14(土)	個性輝く大学創りをプロデュースする …大学を元気にするコミュニケーション力とプレゼンテーション力…
第 5 回 大学人コミュニケーション力養成セミナー	08/ 9 / 5 (金)~ 6 (土)	個性輝く大学創りをプロデュースする
第 6 回 大学人コミュニケーション力養成セミナー	09/ 3 / 6 (金)~ 7 (土)	個性輝く大学創りをプロデュースする
第19回 大学職員セミナー (3回シリーズ)	08/ 7 /11(金)~12(土)	第I回 改めて総合的支援体制のあり方と職員の役割を問う
	08/ 9 /19(金)~20(土)	第II回 FDとSD、教員と職員の連携を通して、職員の役割を問う
	08/11/14(金)~15(土)	第III回 地域協力と国際化戦略、それぞれの大学における現状を通して、職員の役割を問う
第49回 大学教員セミナー	08/ 9 /22(月)~23(火)	学士力を考える…中教審答申への対応…
第35回 国際学生セミナー	08/ 9 /27(土)~28(日)	文化的多様性と現代世界
第 2 回 国際教養セミナー	08/10/ 4 (土)~ 5 (日)	イスラーム世界における「他者」との共生 …宗教・宗派・民族の相違を超えて…
第 5 回 古代史セミナー	08/11/ 8 (土)~ 9 (日)	日本の古代史を学ぶ …古田武彦先生を囲んで…

☆詳細が決定次第、ホームページでご案内致します <http://www.seminarhouse.or.jp>

☆セミナーに関するお問い合わせ・お申し込み

TEL.042-676-8532 FAX.042-676-1220 E-Mail:kikaku-koho@seminarhouse.or.jp

### ○寄贈図書 (2007年10月~2008年3月)

「心身一如の道」

鄭 虹

「バングラデシュ詩選集」 財団法人大同生命国際文化基金

「危険犯」 学習院大学庶務部

「グローバル化のなかで中国の明日を読み解く」

川西重忠

「キャリア形成・能力開発」

宮崎冴子

「キャリア教育 理論と実践・評価」

〃

「前田護郎選集2 聖書の研究」

上田明子

「住まいの文化誌」全5冊 株式会社多摩ホームイング

「詩を楽しむ」

三浦安子

高木博氏所蔵 古田武彦著作全74冊

## 館長室から スパイラル

今年は、キャンパスの枝垂れ桜が見事だった。それに加えて、昨年植えたばかりの河津桜が早くも花を咲かせた。将来が楽しみである。

お陰様で、昨年度は利用者が35000人を超えた。2年続けて、対前年度比5000人増を実現したことになり、永年続いていた負のスパイラル状態を脱することが出来た。「さくら館」効果が大きいと思われるが、反面、「さくら館」とそれ以外の施設との格差が目立つので、昨年度末には、国際館にシャワーとトイレを増設し、松下館にユニットバスを設置した。今年度は記念館にユニットバスを設置するなど、施設の改良に努めている。これらの応急的な施設改善により、暫くは息をつなぐことが出来ると期待するが、気を緩めれば元の木阿弥になる。経営が正のスパイラル状態を維持出来る様になるには、ハード・ソフト両面の抜本的な改善が必要である。

教育職員免許法が改正され、2009年度から教員免許更新制度が導入されることになり、免許状更新講習の受講が義務付けられることになる。今年度はそのための試行が全国の101の機関で実施されることになり、セミナーハウスもその一つに選ばれ、3泊4日の講習を企画している。「教育立国」を目指す我が国においては、優秀な教員の確保が緊急の課題であり、そのためにセミナーハウスが些かの貢献が出来ればと願っている。

「教育立国」を目指すからには、「米百俵」の精神を正しく理解し、実践することが強く求められる。3度の飯を2度にしても教育に投資するのが「米百俵」の精神である。教育予算を削減する様では、「教育立国」どころか、国として負のスパイラル状態が永続することになりかねない。

館長 荻上 紘一



Plain living and high thinking

制 編 発 行 セ  
作 集 行 行 ニ  
株 八 財 団 法 人 学 大  
式 王 子 団 法 人 大 学 セ ミ ナ ー ハ ウ ス  
会 社 八 王 子 セ ミ ナ ー ハ ウ ス 企 画 広 報 課  
社 八 王 子 印 刷  
2008年5月発行 No. 174